



監査報告書

令和 5 年 6 月 1 日

社会福祉法人 桜川会

理事長 間山公一 殿

監事 神 寿寿 

監事 山崎 水香弘 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和 4 年度
決 算 報 告 書

(自) 令和 4 年 4 月 1 日
(至) 令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人 桜川会

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収	0181 保育事業収入	107,950,000	112,006,104	-4,056,104
	入	0200 受取利息配当金収入		428	-428
		0201 その他の収入	3,285,000	3,450,404	-165,404
	事業活動収入計(1)		111,235,000	115,456,936	-4,221,936
	支	0129 人件費支出	84,620,000	83,535,357	1,084,643
		0130 事業費支出	10,381,000	9,895,723	485,277
0131 事務費支出		10,209,000	9,166,056	1,042,944	
0138 その他の支出		900,000	861,900	38,100	
事業活動支出計(2)		106,110,000	103,459,036	2,650,964	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		5,125,000	11,997,900	-6,872,900	
施設整備等による収支	収	0207 固定資産売却収入	150,000	150,000	
	入	施設整備等収入計(4)	150,000	150,000	
		支	0144 固定資産取得支出	1,800,000	1,731,520
	施設整備等支出計(5)		1,800,000	1,731,520	68,480
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-1,650,000	-1,581,520	-68,480	
その他の活動による収支	収	0214 積立資産取崩収入	1,620,000	1,645,196	-25,196
	入	0222 拠点区分間繰入金収入	5,950,000		5,950,000
		その他の活動収入計(7)	7,570,000	1,645,196	5,924,804
	支	0152 積立資産支出	15,850,000	21,813,982	-5,963,982
		0160 拠点区分間繰入金支出	5,950,000		5,950,000
	その他の活動支出計(8)		21,800,000	21,813,982	-13,982
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-14,230,000	-20,168,786	5,938,786	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-10,755,000	-9,752,406	-1,002,594	
前期末支払資金残高(12)		39,782,998	39,782,998		
当期末支払資金残高(11)+(12)		29,027,998	30,030,592	-1,002,594	

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	112,006,104	183,099,626	-71,093,522
		サービス活動収益計(1)	112,006,104	183,099,626	-71,093,522
	費用	0015 人件費	81,519,657	144,175,168	-62,655,511
		0016 事業費	9,895,723	17,124,150	-7,228,427
		0017 事務費	9,166,056	16,508,475	-7,342,419
		0027 減価償却費	4,556,423	6,836,879	-2,280,456
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-322,342	-356,693	34,351
		0031 引当金繰入	813,982	1,526,781	-712,799
	サービス活動費用計(2)	105,629,499	185,814,760	-80,185,261	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,376,605	-2,715,134	9,091,739	
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	428	966	-538
		0098 その他のサービス活動外収益	3,450,404	2,251,338	1,199,066
		サービス活動外収益計(4)	3,450,832	2,252,304	1,198,528
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	861,900	1,864,460	-1,002,560
		サービス活動外費用計(5)	861,900	1,864,460	-1,002,560
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,588,932	387,844	2,201,088	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		8,965,537	-2,327,290	11,292,827	
特別増減の部	収益	0104 固定資産売却益	149,999		149,999
		0111 その他の特別収益		4,400	-4,400
		特別収益計(8)	149,999	4,400	145,599
	費用	4931 建物売却損・処分損		1	-1
		4933 器具及び備品売却損・処分損	69,566	3	69,563
		4934 その他の固定資産売却損・処分損	1	2	-1
		4941 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-139,861		-139,861
		4981 その他の特別損失	14,533,290	1,637,660	12,895,630
		4983 過年度修正損		11,220	-11,220
		特別費用計(9)	14,462,996	1,648,886	12,814,110
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-14,312,997	-1,644,486	-12,668,511	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-5,347,460	-3,971,776	-1,375,684	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		93,655,327	59,927,103	33,728,224
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		88,307,867	55,955,327	32,352,540
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)			37,700,000	-37,700,000
	その他の積立金積立額(16)		21,000,000		21,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		67,307,867	93,655,327	-26,347,460

第一号第三様式 (第十七条第四項関係)

社会福祉事業事業区分資金収支内訳表

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		大野保育園	蛸貝保育園	大野第二放課後児童会	桜川会法人本部	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収 0181 保育事業収入	104,958,561		7,047,543		112,006,104		112,006,104
	0200 受取利息配当金収入	390	24	9	5	428		428
	0201 その他の収入	1,450,499	1,999,905			3,450,404		3,450,404
	事業活動収入計(1)	106,409,450	1,999,929	7,047,552	5	115,456,936		115,456,936
	支 0129 人件費支出	73,980,342	3,493,280	6,061,735		83,535,357		83,535,357
	0130 事業費支出	9,483,248	113,773	298,702		9,895,723		9,895,723
	0131 事務費支出	8,312,945	237,530	503,907	111,674	9,166,056		9,166,056
	0138 その他の支出	861,900				861,900		861,900
	事業活動支出計(2)	92,638,435	3,844,583	6,864,344	111,674	103,459,036		103,459,036
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	13,771,015	-1,844,654	183,208	-111,669	11,997,900		11,997,900
施設整備等による収支	収 0207 固定資産売却収入	150,000				150,000		150,000
	施設整備等収入計(4)	150,000				150,000		150,000
	支 0144 固定資産取得支出	1,550,020		181,500		1,731,520		1,731,520
	施設整備等支出計(5)	1,550,020		181,500		1,731,520		1,731,520
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,400,020		-181,500		-1,581,520		-1,581,520	
その他の活動による収支	収 0214 積立資産取崩収入	767,520	877,676			1,645,196		1,645,196
	0222 拠点区分間繰入金収入	3,841,904	143,275	1,407	1,812,163	5,798,749	-5,798,749	
	その他の活動収入計(7)	4,609,424	1,020,951	1,407	1,812,163	7,443,945	-5,798,749	1,645,196
	支 0152 積立資産支出	21,813,982				21,813,982		21,813,982
	0160 拠点区分間繰入金支出	613,570	3,112,154	1,200,000	873,025	5,798,749	-5,798,749	
	その他の活動支出計(8)	22,427,552	3,112,154	1,200,000	873,025	27,612,731	-5,798,749	21,813,982
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-17,818,128	-2,091,203	-1,198,593	939,138	-20,168,786		-20,168,786	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-5,447,133	-3,935,857	-1,196,885	827,469	-9,752,406		-9,752,406	
前期末支払資金残高(11)	34,539,234	3,935,857	1,258,747	49,160	39,782,998		39,782,998	
当期末支払資金残高(10)+(11)	29,092,101		61,862	876,629	30,030,592		30,030,592	

第二号第三様式 (第二十三条第四項関係)

社会福祉事業事業区分事業活動内訳表

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		大野保育園	蛭貝保育園	大野第二放課後児童会	桜川会法人本部	合計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	104,958,561		7,047,543			112,006,104	
		サービス活動収益計(1)	104,958,561		7,047,543			112,006,104	
	費用	0015 人件費	72,799,818	2,615,604	6,104,235			81,519,657	
		0016 事業費	9,483,248	113,773	298,702			9,895,723	
		0017 事務費	8,312,945	237,530	503,907	111,674		9,166,056	
		0027 減価償却費	3,990,984		565,439			4,556,423	
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-54,857		-267,485			-322,342	
		0031 引当金繰入	813,982					813,982	
		サービス活動費用計(2)	95,346,120	2,966,907	7,204,798	111,674		105,629,499	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,612,441	-2,966,907	-157,255	-111,674		6,376,605	
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	390	24	9	5		428	
		0098 その他のサービス活動外収益	1,450,499	1,999,905				3,450,404	
		サービス活動外収益計(4)	1,450,889	1,999,929	9	5		3,450,832	
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	861,900						861,900
		サービス活動外費用計(5)	861,900						861,900
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	588,989	1,999,929	9	5		2,588,932		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	10,201,430	-966,978	-157,246	-111,669			8,965,537	
特別増減の部	収益	0104 固定資産売却益	149,999					149,999	
		0106 拠点区分間繰入金収益	3,841,904	143,275	1,407	1,812,163		5,798,749	
		特別収益計(8)	3,991,903	143,275	1,407	1,812,163		5,948,748	
	費用	4933 器具及び備品売却損・処分損	42,566		27,000				69,566
		4934 その他の固定資産売却損・処分損	1						1
		4941 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		-139,861					-139,861
		4962 拠点区分間繰入金費用	613,570	3,112,154	1,200,000	873,025			5,798,749
		4981 その他の特別損失		14,533,290					14,533,290
		特別費用計(9)	656,137	17,505,583	1,227,000	873,025			20,261,745
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,335,766	-17,362,308	-1,225,593	939,138			-14,312,997
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	13,537,196	-18,329,286	-1,382,839	827,469			-5,347,460	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	72,480,507	18,329,286	2,796,374	49,160			93,655,327	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	86,017,703		1,413,535	876,629			88,307,867	
	基本金取崩額(14)								
	その他の積立金取崩額(15)								
	その他の積立金積立額(16)	21,000,000						21,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	65,017,703		1,413,535	876,629			67,307,867	

事業・拠点 [0001:社会福祉事業]

理事長	会計責任者	会計職員	

第三号第三様式 (第二十七条第四項関係)

社会福祉事業事業区分貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	大野保育園	蛸貝保育園	大野第二放課後児童会	桜川会法人本部	合計	内部取引消去	事業区分合計
0001 流動資産	31,957,712		227,855	876,629	33,062,196		33,062,196
1111 現金預金	30,212,252		227,855	876,629	31,316,736		31,316,736
1131 事業未収金	1,325,460				1,325,460		1,325,460
1133 未収補助金	420,000				420,000		420,000
0002 固定資産	139,157,261		3,730,781		142,888,042		142,888,042
0003 基本財産	105,885,808		3,318,367		109,204,175		109,204,175
1211 土地	60,470,000				60,470,000		60,470,000
1212 建物	45,415,808		3,318,367		48,734,175		48,734,175
0004 その他の固定資産	33,271,453		412,414		33,683,867		33,683,867
1312 建物	47,015				47,015		47,015
1313 構築物	620,699		87,159		707,858		707,858
1316 器具及び備品	2,121,314		325,255		2,446,569		2,446,569
1322 ソフトウェア	592,900				592,900		592,900
1329 退職給付引当資産	7,589,525				7,589,525		7,589,525
1332 保育所施設設備整備積立資産	7,300,000				7,300,000		7,300,000
1337 人件費積立資産	15,000,000				15,000,000		15,000,000
資産の部合計	171,114,973		3,958,636	876,629	175,950,238		175,950,238
0006 流動負債	4,108,614		338,493		4,447,107		4,447,107
2112 事業未払金	1,130,905		165,993		1,296,898		1,296,898
2133 職員預り金	1,734,706				1,734,706		1,734,706
2152 賞与引当金	1,243,003		172,500		1,415,503		1,415,503
0007 固定負債	7,589,525				7,589,525		7,589,525
2321 退職給付引当金	7,589,525				7,589,525		7,589,525
負債の部合計	11,698,139		338,493		12,036,632		12,036,632
0009 基本金	71,932,926				71,932,926		71,932,926
3111 基本金	71,932,926				71,932,926		71,932,926
0010 国庫補助金等特別積立金	166,205		2,206,608		2,372,813		2,372,813
3211 国庫補助金等特別積立金	166,205		2,206,608		2,372,813		2,372,813
0011 その他の積立金	22,300,000				22,300,000		22,300,000
3221 保育所施設設備整備積立金	7,300,000				7,300,000		7,300,000
3222 人件費積立金	15,000,000				15,000,000		15,000,000
0012 次期繰越活動増減差額	65,017,703		1,413,535	876,629	67,307,867		67,307,867
3311 次期繰越活動増減差額	65,017,703		1,413,535	876,629	67,307,867		67,307,867
3312 (うち当期活動増減差額)	13,537,196	-18,329,286	-1,382,839	827,469	-5,347,460		-5,347,460
純資産の部合計	159,416,834		3,620,143	876,629	163,913,606		163,913,606
負債及び純資産の部合計	171,114,973		3,958,636	876,629	175,950,238		175,950,238

財 産 目 録
令和 5年 3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	青森銀行/大野支店他	—	運転資金として	—	—	31,316,736
事業未収金	令和4年度保育所委託費他	—		—	—	1,325,460
未収補助金	3月分園保育料他	—		—	—	420,000
流動資産合計						33,062,196
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	青森市大字大野字前田74番地1	昭和56年	第二種社会福祉事業である、大野保育園施設等に使用している。	—	—	53,625,000
	青森市大字大野字前田74番地66	平成27年	第二種社会福祉事業である、大野第二放課後児童会施設等に使用している。	—	—	6,845,000
小計						60,470,000
建物	(大野保育園拠点) 青森市大字大野字前田74番地1	昭和56年	第二種社会福祉事業である、大野保育園施設等に使用している。	114,827,722	69,411,914	45,415,808
	(大野第二放課後児童会拠点) 青森市大字大野字前田74番地1	平成19年	第二種社会福祉事業である、大野第二放課後児童会施設等に使用している。	11,301,548	7,983,181	3,318,367
小計						48,734,175
基本財産合計						109,204,175
(2) その他の固定資産						
建物	(大野保育園拠点)ユニットバス他	—	第二種社会福祉事業である、大野保育園施設等に使用している。	2,195,765	2,148,750	47,015
構築物	物置コンテナ他	—	第二種社会福祉事業である、大野保育園施設等に使用している。	4,821,746	4,113,888	707,858
器具及び備品	ピアノ他	—	第二種社会福祉事業である、大野保育園施設及び大野第二放課後児童会施設等に使用している。	10,946,658	8,500,089	2,446,569
ソフトウェア	福祉大臣	—	会計ソフト	808,500	215,600	592,900
退職給付引当資産	県社協退職金共済掛金	—	将来における職員の退職金に使用するため。	—	—	7,589,525
保育所施設設備整備積立資産	青森銀行/大野支店	—	将来における建替のために積立てている預金	—	—	7,300,000
人件費積立資産	青森銀行/大野支店	—	将来における職員の賞金に使用するため。	—	—	15,000,000
その他の固定資産合計						33,683,867
固定資産合計						142,888,042
資産合計						175,950,238
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	業者支払他	—		—	—	1,296,898
職員預り金	3月分社会保険料他	—		—	—	1,734,706
賞与引当金	賞与引当金	—		—	—	1,415,503
流動負債合計						4,447,107
2 固定負債						
退職給付引当金	県社協退職金共済掛金引当金	—		—	—	7,589,525
固定負債合計						7,589,525
負債合計						12,036,632
差引純資産						163,913,606

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 桜川会
大野保育園
大野第二放課後児童会

目 次

・ 法人の基本理念	・・・・・・・・	1
・ 令和4年度の事業概況	・・・・・・・・	1
・ I 法人の概要（役員・評議員等の状況）	・・・・・・・・	1
・ 経営する社会福祉施設及び事業	・・・・・・・・	1～2
・ 会議等の開催状況	・・・・・・・・	2～3
・ 職員の状況、研修等	・・・・・・・・	3～4
・ II 施設運営（大野保育園）	・・・・・・・・	5～9
・ II 施設運営（大野第二放課後児童会）	・・・・・・・・	10
・ III 職員の処遇管理等	・・・・・・・・	11
・ 研修等参加者名簿	・・・・・・・・	12
・ 事業報告の附属明細書について	・・・・・・・・	13

《 社会福祉法人桜川会の基本理念 》

質の高い福祉サービスを追及し利用者の最善の利益と
人権を守り、地域福祉の推進に貢献します。

◇令和4年度の事業概況

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響がある中での運営となりましたが、子どもたちへの感染対策と共に、職員に対しても抗原検査キッドの配布などにより働きやすい環境づくりに努めてまいりました。また職員一人ひとりの自覚・工夫・努力によって、コロナ禍以前と同様とはなりません、人数制限等をもうけながら様々な行事も開催することができました。

施設内の環境整備等においては、冬期間の除雪作業を業者へ委託することにより、保護者様の送迎のみならず職員の駐車スペースにおいても改善を図ることができました。

これからも職員一丸となり、地域に必要とされる施設運営を目指してまいります。

I 法人の概要

- ① 役員・評議員等の状況（理事・監事 任期：令和3年7月1日～令和5年定時評議員会終了まで）
令和5年3月31日現在（評議員 任期：令和3年6月23日～令和7年定時評議員会終了まで）

理事長	間山公一	理事	間山百合子	理事	工藤典子
理事	櫛引由希子	理事	工藤暁子	理事	鈴木貴子
評議員	工藤朝彦	評議員	山口万里子	評議員	對馬礼子
評議員	野村眞木男	評議員	櫻庭敬子	評議員	鳴海沖人
評議員	秋田美季	監事	山崎水季弘	監事	神孝寿

- ② 第三者委員（令和4年度）

大野保育園 ① 三浦良子(NPO法人セーフティネット青森) ② 奥谷きゆ(大野地区元民生委員)

- ③ 経営する社会福祉施設及び事業

(1) 第二種社会福祉事業（定款規定）

(ア) 保育所の経営

大野保育園	
所在地 定員	青森市大野字前田74番地1 定員60名（受入可能78名）～S56.4事業開始～
特別事業 （認可）	1. 延長保育 2. 一時預かり保育 3. 世代間交流事業
園舎概況 （基本財産）	・土地 1,300.00㎡ ・建物 641.31㎡（木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建）

(イ) 放課後児童健全育成事業の経営

大野第二放課後児童会 通称：大野児童クラブ (H15.4 青森市から受託開始)	青森市大野字前田 74 番地 1 (大野保育園併設) 小学校 1 年生から 6 年生までの学童保育 定員 40 名
---	---

(ウ) 一時預かり事業の経営 (H.21.6：青森市長届出)

大野保育園	1 日 3 名まで受入れ、週 3 日程度利用可能(行事等により変更有り) 保護者の一時的就業や傷病・入院、育児疲れ解消等の私的な理由やその他の事由により、一時的に保育の必要となった児童を預かり保育を行う。
-------	---

④ 会議の開催状況(令和 4 年度)

理 事 会		
開催日・場所	議 案	出 席
R4.6.2 大野保育園	報告事項 1. 理事長の職務執行状況報告 2. 監事監査報告 3. 令和 3 年度自己評価点検表 審議事項 1. 令和 3 年度事業報告及び附属明細書の承認について 2. 令和 3 年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3. 定款変更について 4. 定時評議員会の招集について 5. 令和 4 年度大野保育園の駐車場賃貸借契約について 6. その他	理 事 6 名 監 事 2 名
R4.11.21 大野保育園	報告事項 1. 理事長の職務執行状況報告 審議事項 1. 固定資産管理責任者任命に伴う経理規程改定について 2. 事業譲渡に伴う資金移動及び積立資産について 3. 令和 4 年度 第一次補正予算について 4. その他	理 事 6 名 監 事 2 名
R5. 3. 7 大野保育園	報告事項 1. 理事長の選定について 2. その他 審議事項 1. 規程・規則等の見直しについて 2. 積立資産への資金移動について 3. 令和 4 年度 第二次補正予算について 4. 令和 5 年度 事業計画について 5. 令和 5 年度 当初予算について 6. その他	理 事 6 名 監 事 1 名

評 議 員 会		
開催日	議 案	出席
R4. 6. 20 大野保育園	報告事項 1. 令和3年度 事業報告について 2. 令和3年度 自己評価点検表について 3. 令和4年度 大野保育園の駐車場賃貸借契約について 4. 監事監査報告 審議事項 1. 令和3年度 計算書類及び財産目録の承認について 2. 定款変更について 3. その他	評議員 5 名 理 事 1 名 監 事 2 名

⑤ 令和4年度指導監査（青森市福祉部指導監査課 3名）

大野保育園 令和5年1月17日（9:30～12:30）

⑥ 所轄庁等への認可(届出)・登記等

月	相 手 ・ 内 容	月	相 手 ・ 内 容
6月	法務局 資産総額変更登記	6月	青森市長 社会福祉法人現況報告書
12月	青森市長 社会福祉施設自主点検表	3月	青森労働基準監督署 労使協定、就業規則

⑦ 意見、要望・苦情等の担当

施 設	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第 三 者 委 員
大野保育園	工藤 暁子 (園 長)	間山 公一 (理事長)	奥谷 きゆ (大野地区元民生委員) 三浦 良子 (NPO 法人セーフティネット青森)

⑧ 職員の状況 職員数 24名

(7)職員構成

区 分	園 長	主 任 保育士	保育士	看護師	調理員	事 務	計	3年度中途退 職者数
大野保育園	1	1	11	1	3	1	18	0
大野児童クラブ	学童保育支援員 6名						6	0

令和5年3月31日現在 在籍職員

(イ)健康管理・福利厚生等

職員の定期健康診断は、6.7月に実施。青森市の制度利用で40才以上の対象職員には、付加健診項目(ABC胃がん検診等)を川口内科及び協立病院で行う。また、毎月1回の細菌検査(検便)を実施し、11月～3月についてはノロウィルス検査を行う。また、希望職員にはインフルエンザワクチン接種の補助を行っている。

福利厚生では、社会福祉法でも規定されている「福利厚生センター」に平成24年度より対象職員が加入している。この会費については法人で負担し、職員の健康増進と余暇(リフレッシュ)活動の充実を促している。

(ウ)職員研修

法人の研修理念に沿って、外部研修への参加や個人研修計画シートの記入、自己点検評価の実施、また日常のOJTを積極的に活用したほか、定例の職員全体研修会・園内研修会を次のとおり実施した。

<大野保育園園内研修>

- ① 令和4年10月22日(土) 13:00～15:00
「幼児体育の意義」～ 子どもの発達を知る～ 保育士：沼田奈津子・佐々木 綾

- ② 令和5年1月28日(土) 13:00～15:00
「働きやすい職場づくりの為の改善点」 主任：奥崎美智子

Ⅱ 施設運営

《大野保育園》

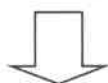
保 育 理 念

子どもの最善の利益とより良い生活を守り
望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。

保
育
方
針



元 気 な 子 ども
仲 の 良 い 子 ども
考 え る 子 ども
生 き る 力 を も っ た 子 ども
身 辺 処 理 の 出 来 る 子 ども



上記の子ども像達成のために、保育・支援目標を定める

(1) 児童の処遇

① 保育児童数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
0歳児	標準	4	5	5	5	7	7	7	7	7	7	7	7	75	92
	短時間	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	17	
1歳児	標準	10	10	9	9	10	10	9	10	10	10	10	10	117	132
	短時間	1	1	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	15	
2歳児	標準	11	11	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	131	143
	短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
3歳児	標準	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132	144
	短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
4歳児	標準	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	89	108
	短時間	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19	
5歳児	標準	11	11	10	10	11	11	10	11	11	11	11	11	129	132
	短時間	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
計		59	60	60	61	64	64	63	64	64	64	64	64	751	751

② 健康管理

歯科検診			内科検診		
6月 9日	歯科嘱託医	秋谷久美子	5月 19日	内科嘱託医	嶋中義人
10月 4日	歯科嘱託医	秋谷久美子	10月 11日	内科嘱託医	嶋中義人

※当日欠席した児童は後日受診とし、発育測定は毎月実施

健康面では園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう次の点に取り組んだ。

- ・ 日常養護と健康管理
- ・ 病気の予防と早期発見
- ・ 環境衛生
- ・ 安全と事故防止
- ・ 健康増進と保健指導

③ 安全管理

青森警察署交通安全指導員（白鳥クラブ）の交通安全指導を1回実施。

□避難訓練

月	想定	内容	訓練内容
4月 21日	地震	地震発生による避難（ホール）	模擬消火訓練
5月 10日	総合地震による火災	地震から火災発生による屋外避難	総合避難訓練 通報訓練
6月 14日	地震	地震発生による屋外避難	模擬消火訓練
7月 12日	火災	調理室からの火災発生による屋外避難	模擬消火訓練
8月 16日	地震（不審者）	地震発生による避難（ホール）	模擬消火訓練 撃退訓練
9月 14日	火災（防災訓練）	近隣の建物火災による屋外避難（大野公園）	模擬消火訓練 公園までの避難・誘導
10月 19日	総合地震による火災	学童室からの火災発生による屋外避難	総合避難訓練 通報訓練
11月 17日	火災	調乳室からの火災発生による避難（ホール）	模擬消火訓練
12月 21日	地震	地震発生による避難（ホール）	模擬消火訓練
1月 19日	火事（Jアラート）	調理室からの火災発生による避難（ホール）	模擬消火訓練
2月 16日	地震（水害）	地震発生による避難（ホール）水害（2階）	模擬消火訓練 垂直避難
3月 15日	火災	調乳室からの火災発生による避難（ホール）	模擬消火訓練

※防火設備の保守点検として年2回業者（青森消防設備）による火災報知機等の点検を実施

④ 栄養管理

(ア) 日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食量等、パソコンソフトによる給食事務を行う。

(イ) 給食指導

毎月の献立表等は給食計画に基づき作成している。離乳食に関しては、個人差を考慮し家庭との連携を図りながら無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので個人によっては離乳食を提供する。アレルギー児の「食物除去」も、アレルギーガイドラインに沿って、それぞれの子どもの症状により代替食を用意し、見た目も重視しながら、通常メニューに近いものを提供している。

(ウ) 食育

大野保育園では、「心を育てる食育」を目標とし、食に関わる行事や活動を行う。また、サンプル展示を行うことで普段の給食の様子を見る事が出来、メニューやレシピにも関心をもつ声が聴かれるなど、保護者にも好評である。旬の野菜を食材に取り入れ、自然の恵みの豊かさや大切さを知ること、感謝の気持ちを持つよう日々働きかけをしている。自分達で育てた野菜や、食に興味を持つことで子どもの好き嫌いが減り、食事のマナーや基本的な習慣、自然への知識も身につけてきている。

(2) 地域との連携等

①子育て支援の為に保護者の保育参加、育児講座等の開催
コロナウイルス感染症対策の一環により開催なし。

②実習生の受け入れ

期 間	学 校 名 (人数)
5月28日～6月4日	柴田学園大学2年生(1名)
8月17日～8月31日	柴田学園大学2年生(1名)
8月29日～9月10日	青森中央短期大学2年生(2名)
1月16日～1月28日	青森中央短期大学1年生(1名)
2月13日～2月24日※	明の星短期大学1年生(1名)

※2/25・27の延長あり

③ボランティア・中学生・高校生職場体験
コロナウイルス感染症対策の一環により受入なし。

④世代間交流

5月23日	トマトの苗植え
10月20日	さつまいも掘り(和幸園)

(3) 主な行事

4月9日	入園式	9月10日	運動会
4月28日	子どもの日集会	9月21日	水族館遠足（3.4.5歳児）
5月9日	プランターの花植え（5歳児）	10月1日	秋まつり
5月23日	トマトの苗植え体験（5歳児）	10月6日	りんご狩り（3.4.5歳児）
6月4日	参観日（0.2.4歳児）	10月20日	さつまいも掘り（5歳児）
6月7日	消防署見学（5歳児）	12月10日	おゆうぎ会
6月11日	参観日（1.3歳児）	2月2日	節分集会
6月21日	参観日（5歳児）	2月15日	クッキーづくり（5歳児）
6月22日	白鳥クラブ交通安全教室	3月1日	ひなまつり集会
7月1.2日	おとまり保育（5歳児）	3月4日	卒園式
7月7日	七夕集会	3月9日	卒園を祝う会

(4) 意見、要望、苦情等 令和4年度の受付 3件

受付日	令和4年4月15日	第三者委員への報告 希望する <u>希望しない</u>
内容等	<p>運営適正化委員会へ、コロナウイルス感染症に関して説明が不十分ではないかと匿名での電話があったとのこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者がわかりにくい ・休園措置に対して給食費の返金はしてもらえるのか 	
園の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所と市役所に確認を取り、市からの一部休園のクラスの特定に関しては「濃厚接触者の可能性が極めて高い」と理解していただくこと ・給食費は原則返金しない事などを全世帯に伝えた ・職員間で話し合い、保護者の立場になって知りたい情報を分かりやすく伝えていくようにする 	

受付日	令和4年4月25日	第三者委員への報告 希望する <u>希望しない</u>
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が毎日午睡途中のお迎えを園に伝えていき、大幅に遅れて迎えに来ることが続いたため、もう少し遅い時間のお迎え（午睡後）でも大丈夫であることを伝えたことに対し、自分に事情があったのだから、そのように言わないでほしいとのこと ・バイバイと挨拶したことに対し、0歳児だからと言って省略した挨拶はしないでほしいとのこと 	
園の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎えが遅れても、そのことに対して何も言わないようにする ・挨拶は省略せずに言う 	

受付日	令和4年11月28日	第三者委員への報告 希望する・ <u>希望しない</u>
内容等	<p>児童発達支援デイサービスを初めて見学に行った際、施設の人が子どもの名前や通っているの保育園名を知っていた。園にサッカーの指導に来ているコーチが支援施設の方と知り合いで（園児名は出さずに）相談したことがあった為、相談内容と園児名が結びついてしまったとのこと（後日、支援施設への聞き取りで判明）</p> <p>園がサッカーコーチに障害名等を勝手に伝えているのかと思っていた。</p>	
園の対応	<p>児童発達支援施設とサッカーコーチに聞き取りを行ったうえで、その経緯を母親に説明した。またサッカーを行ううえで配慮が必要な子であることを伝えずに進めていくことは出来ないため、必要最小限で伝えていくこと（診断名等は知らせない）には変わりなく、今回の件は園児本人も発達支援施設に通っていることを周囲に言っているということもあり、園から個人情報が流出したのではないことを母親に伝えた。</p> <p>又、サッカーコーチと児童発達支援施設に対しては、個人情報は慎重に取り扱ってほしいと要望した。</p>	

(5) 行事等の感想（連絡帳・オンブズマン聞き取りによる）

令和4年6月11日（土）保育参観日に於いてオンブズマンによる保護者への聞き取り

- ・1歳児保護者…何の心配もなく安心してお任せできる
- ・3歳児保護者…この園での生活は初めてだが、笑顔が絶えず安心してお願いできる信頼感がある

令和4年9月10日（土）運動会においてオンブズマンにより聞き取りを予定

- ・オンブズマンの体調不良のため無し

《大野第二放課後児童会》 通称：大野児童クラブ

大野児童クラブの指導方針(学童保育)

異年齢との交流体験を通して、活発な行動意欲の育成を支援する。

保育目標 ⇒ (1)集団生活の中できまりを守り、友情と思いやりの心を育む。
 (2)学習習慣を身につけ、豊かな創造力と応用する力を養う。

(1)利用児童数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
2年生	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	97
3年生	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40
4年生	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
6年生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※上記の内、土曜日に他の児童会からの利用者数 0 名、長期休業日だけの利用者数 0 名

(2) 主な行事

5月	避難訓練（地震）
8月	避難訓練（保育園合同）、英語教室、特技発表
9月	避難訓練（火災）
11月	製作
3月	退会児童を送る会

(3) 意見、要望、苦情等（口頭等含む）

令和4年度の受付 0 件

Ⅲ 職員の処遇管理等

(1) 各種会議

- ・職員会議 毎月1回実施
- ・給食会議 毎月1回実施及び適宜実施
- ・ケース会議 適宜実施

(2) 労務管理

令和4年度も、国の施策による保育士等職員の処遇改善特例事業により、施設長を除く職員へ臨時特例手当が支給された。また、処遇改善費Ⅱは副主任、専門・部門別リーダーに支給し、処遇向上を図った。

勤務体制は、今まで通り変形労働制による勤務で、1週間の労働時間を40時間とし、早番、遅番等のシフト勤務を継続した。

年次有給休暇は年度初(4/1付)に職員へ付与し、年間10日以上の有給休暇が付与される職員に対しては取得義務とする5日以上の消化を促した。

(3) 情報公開について

当法人では社会福祉法第75条に基づき、保護者等に対して事業報告書・資産等の決算書・重要事項説明書の公開を両保育園で行っている。平成29年施行の財務諸表等電子開示システム(独立行政法人福祉医療機構)により定款・事業報告書・決算各計算書類・現況報告書の公開を行い、経営・運営の透明性を図っている。

令和4年度 研修等参加者名簿（総会等省略）

【大野保育園】

研修参加者	研修日	出張先	研修内容
織田 綺音	5/27	青森県立保健大学	新任保育士研修
工藤 暁子	6/14	ホテル青森	令和4年度 保育・未来フォーラム
藤嶋 千佳子	6/17	青森県立保健大学	発達の遅れ、アンバランスさのある子どもへの理解と対応
芦 名 愛	7/14	Web 研修	ゼロ歳児の発達と保育
須藤 理美子	7/22	青森県立保健大学	令和4年度 栄養・食育マネジメントセミナー I
今 絵 美	7/26～27	Web 研修	令和4年度 保育士等キャリアアップ研修（乳児保育分野）
工藤 暁子	8/23	Web 研修	幼保事業者向けセミナー 「限度を超えた保護者からの要求への対応策」
松田 明子	9/28	Web セミナー	発達支援 web 研修会 「吃音」に気付いた時どうする？
今 絵 美	10/4～5	Web セミナー	令和4年度 保育士等キャリアアップ研修（子育て支援分野）
織田 綺音	10/21	青森県立保健大学	新任保育士、保育教諭 フォローアップ研修会
工藤 暁子	10/26	Web セミナー	就学前施設の不適切保育・虐待防止研修
今 絵 美	12/13～14	Web 研修	令和4年度 保育士等キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）
佐々木 綾	12/15	Web 研修	親と子の未来を育むためにできること ～家庭支援の「今」を考える～
藤嶋 千佳子	1/18	ウエディングプラザアラスカ	発達障害児への対応について ～早期に気づき適切に対応するために～
工藤 暁子	1/18	Web セミナー	離職防止環境整備研修会
中 村 想	1/20	アピオ青森	青森市絵本講座 「絵本と想像力」～絵本がもたらす世界～
長内 智恵	2/14	日本赤十字社 青森県支部	東青地区 こども赤十字研修会

【大野児童クラブ】

研修参加者	研修日	出張先	研修内容
間山 百合子	11/7.8.28.29	リンクステーションホール	令和4年度青森県放課後児童支援員 認定資格講習

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人 桜川会

社会福祉法人 桜川会

- 大野保育園 〒030-0852 青森市大野前田 74-1
TEL 017-739-7871 FAX 017-718-7081
E-Mail ohno5641@actv.ne.jp

HP →

- 大野児童クラブ 〒030-0852 青森市大野前田 74-1
TEL・FAX 017-739-3998
E-Mail ohno5641@actv.ne.jp

HP →

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 桜川会

大野保育園

大野第二放課後児童会

目 次

・社会福祉法人桜川会の理念	1 P
・活動方針・保育の理念等	1 P
・ I 法人運営	2 P
・ II 経営する社会福祉施設及び事業	3 P
・ III 施設運営（施設の事業内容）	3 P
・ III 施設運営（児童の処遇等）	3 P
・ III 施設運営（保育士定数算定表）	4 P
・ III 施設運営（年間行事予定）	4 P
・ III 施設運営（健康管理）	5 P
・ III 施設運営（安全管理）	5 P
・ III 施設運営（栄養管理）	5 P
・ III 施設運営（職員の処遇:大野保育園）	6 P
・ III 施設運営（職員の処遇:大野児童クラブ）	7 P
・ III 施設運営（職員の健康管理・各種会議等）	7 P
・ III 施設運営（研修方針・福利厚生等）	7 P
・ III 施設運営（施設事業管理）	8 P
・ III 施設運営（地域社会との連携推進）	8 P

《社会福祉法人桜川会の理念》

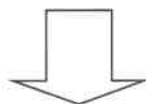
質の高い福祉サービスを追求し
利用者の最善の利益と人権を守り
地域福祉の推進に寄与します。

－ 令和 5 年 度 に 向 け て －

大野保育園・大野第二放課後児童会の運営を今後より一層よくしていくために、どのようにあるべきか・どのようにしていくべきかを考えながら、園児・児童が安全安心に活動できる環境作りを目指し、地域と共に歩んでいけるよう課題等に取り組んで参ります。

保 育 理 念 (大野保育園)

子どもの最善の利益とより良い生活を守り
望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。



保
育
方
針



元 気 な
仲 の 良 い
考 え る
生 き る 力 を も っ た
身 辺 処 理 の 出 来 る

子
ど
も

大野児童クラブの指導方針(学童保育)

異年齢との交流体験を通して、活発な行動意欲の育成を支援する。

保
育
目
標



- (1) 集団生活の中できまりを守り、友情と思いやりの心を育む。
- (2) 学習習慣を身につけ、豊かな創造力と応用する力を養う。

I 法人運営

1 役員（任期：令和3年7月1日～令和5年定時評議員会終了時まで）

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	間山公一	理事	工藤暁子
理事	間山百合子	〃	鈴木貴子
〃	工藤典子	監事	山崎水季弘
〃	櫛引由希子	〃	神孝寿

2 評議員（任期：令和3年7月1日～令和7年定時評議員会終了時まで）

工藤朝彦	山口万里子	對馬礼子	野村眞木男
桜庭敬子	鳴海沖人	秋田美季	

3 第三者委員

大野保育園 奥谷きゆ（元民生委員）、三浦良子（NPO法人 あおもりセーフティネット）

4 理事会及び評議員会

理事会、評議員会を下記のとおり開催する。

- ① 5月：決算承認、事業報告、その他
- ② 6月：定時評議員会、決算承認、事業報告、その他
- ③ 12月：補正予算承認、各種規程改正、その他
- ④ 3月：当初予算承認、事業計画、その他

※ 上記の他、必要に応じて臨時会議を召集開催する。

5 監事監査の実施

5月の決算理事会前に実施し、監事は理事長に監査結果を報告するものとする。

6 法人本部

法人理事長をはじめ理事（職員含む）・評議員を中心に、法人の諸規程や職員処遇の検討、予算執行起案、監査対応等を行う。

7 資金計画

保育園と大野第二放課後児童会の通常経費は、これまで同様に委託費収入と利用者等利用料収入、経常経費補助金収入、雑収入等で運営していく。

II 経営する社会福祉施設及び事業（定款記載に依る）

1 第二種社会福祉事業

(イ) 保育所 大野保育園の設置経営（定員 60 名）

・所在地 青森市大野字前田 74 番地 1

(ロ) 放課後児童健全育成事業 大野第二放課後児童会の設置経営

・所在地 青森市大野字前田 74 番地 1

（略称：大野児童クラブ）

(ハ) 一時預かり事業の経営（大野保育園）

III 施設運営

1 施設の事業内容

大野保育園

特別事業	自主事業
1. 延長保育 2. 一時預かり保育 3. 世代間交流	1. サッカー教室 2. 英語教室 3. 育児講座

2 児童の処遇

(1) 園児クラス編成（令和 5 年 4 月見込み）

大野保育園

クラス名	年齢	児童数
つくし組	0 歳児	3 名
たんぽぽ組	1 歳児	9 名
すみれ組	2 歳児	11 名
ばら組	3 歳児	12 名
ゆり組	4 歳児	12 名
さくら組	5 歳児	10 名
	計	57 名

大野児童クラブ

学年	児童数
1 年生	5 名
2 年生	5 名
3 年生	7 名
4 年生	3 名
5 年生	6 名
6 年生	1 名
計	27 名

保育士定数算定表 (特別保育事業実施分含)

年齢区分	児童数	保育士の数
① 乳児 (0歳児)	3人につき	1人
② 1・2歳児	6人につき	1人
③ 3歳児 (配置改善加算による)	20人につき	1人
④ 4歳以上児	30人につき	1人
⑤ 休けい保育士加配	※利用定員90人以下の場合に加配	1人
⑥ 保育標準時間加配		1人
⑦ 主任保育士加配		1人
⑧ 非常勤保育士加配		0.1人

大野保育園保育士配置数

- ①0歳児 $3 \div 3 = 1$ ②1・2歳児 $20 \div 6 = 3.3$ ③3歳児 $12 \div 20 = 0.6$
 ④4歳以上児 $22 \div 30 = 0.7$ ⑤休けい保育士加配 1人 ⑥保育標準時間加配 1人
 ⑦主任保育士加配 1人 ⑧非常勤保育士加配 0.1人

計 $1 + 3.3 + 0.6 + 0.7 + 1 + 1 + 1 + 0.1 = 8.7$ 人 → 9人

現員保育士数 11名 (看護師1名含)

(2) 年間行事予定(概要)

大野保育園

4月	入園式、保護者会総会、クラス懇談会 内科・歯科健診	10月	稲刈り、りんご狩り、総合避難訓練 歯科検診・内科検診、交通安全教室(白鳥クラブ)
5月	子どもの日集会、田植え 総合避難訓練	11月	七五三
6月	保育参観日、個人面談、社会見学	12月	クリスマスお遊戯会、老人施設訪問 ^世
7月	七夕集会、お泊り保育(年長組)	1月	個人面談
8月	プール遊び	2月	節分誕生会、卒園を祝う会
9月	運動会 ^世 、老人施設訪問 ^世 総合防災訓練、小遠足(浅虫水族館)	3月	ひなまつり誕生会、卒園式 新入園児説明会

※ ^育: 育児講座 ^世: 世代間交流事業 毎月実施: 身体測定、避難訓練、誕生会

大野児童クラブ

4月	新入生歓迎会	9月	「勤労感謝の日」製作
5月	避難訓練(地震)	11月	避難訓練(火災)
8月	避難訓練(不審者)	3月	進級を祝う会

(3) 健康管理

園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう次の点に取り組む。

- ・ 日常養護と健康管理 ・ 病気の予防と早期発見
- ・ 安全と事故防止 ・ 健康増進と保健指導 ・ 環境衛生

- ① 健康診断 内科検診 年2回実施（内科医 嶋中義人）
 歯科検診 年2回実施（歯科医 秋谷久美子）
- ② 清潔検査 毎週月曜日実施
- ③ 発育測定 毎月実施
- ④ 手洗い・歯磨き指導 定常実施

(4) 安全管理 交通安全指導、避難訓練は月1回各種を想定して実施

(5) 栄養管理（PCソフトによる栄養管理）

■ 荷重平均食糧構成表 (単位 g)

区分	穀類	いも類	砂糖類	豆類の他及び製品	種実類	緑黄色野菜	その他の野菜	果実類	きのこ類	海藻類	魚介類	肉類	卵類	牛乳製品	油脂類	菓子類	調味料類	調理加工食品類	
1～2歳児	40	25	3	20	2	30	40	50	2	2	15	10	15	100	15	3	10	5	10
3～5歳児	5	20	3	15	1	30	50	50	2	3	20	20	15	100	15	3	5	8	5

■ 年齢別構成表及び給与栄養目標量 (1人当たり)

区分	エネルギー(kcal)	タンパク質(g)	脂質(mg)	カルシウム(mg)	鉄(mg)	ビタミンA(μgRE)	ビタミンB1(mg)	ビタミンB2(mg)	ビタミンC(mg)	食物繊維(g)	塩分(g)
1～2歳児	530	20	17	225	2.8	125	0.25	0.3	20		
3～5歳児	450	20	20	270	2.2	150	0.3	0.35	20		

■ 給食指導

毎月の献立等においては旬の食材・地産地消・栄養量に留意し、子どもたちが「食」に興味を持つことが出来るような給食の提供をする。アレルギー児の「食物除去・解除」は、代替食も出来るだけ通常食と変わらない給食を提供できるよう配慮する。

■ 離乳食に関して

一人ひとりの好み・食量等の個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食からの移行後で間もないため、個人によっては離乳食又は刻み食等を提供していく。

■ 食育の推進

① 給食のサンプル展示

子ども達が毎日、何をどれだけの量を食べているのか知ることにより、食育に関する親子のコミュニケーションを推進する。

② 自然とのかかわり

野菜や米の栽培や収穫を体験し、調理工程を経て食物として摂取するまでに沢山の人の働きがあることを知り、食べる事への感謝の念を持つ。

3 職員の処遇

(1) 職員構成（令和5年4月）

①大野保育園

園長1名、主任保育士1名、保育士9名、看護師1名、調理員3名、事務員1名、嘱託医2名

職名	氏名	職務分担（概要）
理事長	間山公一	法人・園の経営、園の事務管理、園舎の管理、官署・渉外連絡
園長	工藤暁子	園の運営、安全管理責任者、職員の管理、保育・給食業務の管理、園舎の管理、官署・渉外連絡、職員研修計画に関する事項、福利厚生に関する事項、シフト作成に関する事項、勤務記録管理に関する事項、プレゼント・絵本・備品注文・雑費に関する事項、伝言ファイル作成、事務室黒板記入
主任保育士 (全クラス補助)	奥崎美智子	園長補佐、保育計画の立案、保育指導、業務日誌、行事計画に関する事項、実習生・ボランティア・一時預かり保育に関する事項、保護者会に関する事項、園だより・HP・掲示物に関する事項
5歳児担当 保育士	長内智恵	行事進行、保健・衛生安全管理リーダー、ガッツ集会サブリーダー、避難訓練に関する事項、安全管理に関する事項、業務負担軽減（ICT）に関する事項
4歳児担当 保育士	沼田奈津子 (3歳以上児リーダー)	行事進行、副主任保育士、主任補佐、ガッツ集会リーダー、業務負担軽減（ICT）に関する事項、カメラ・ビデオに関する事項
3歳児担当 保育士	織田綺音	行事進行、カメラ・ビデオに関する事項、業務負担軽減（ICT）に関する事項
2歳児担当 保育士	藤嶋千佳子 西田奈津美	行事進行、障害児保育リーダー、業務負担軽減（ICT）に関する事項、備品管理に関する事項 保育補助
1歳児担当 保育士	松田明子 (3歳未満児リーダー) 山口るみ子	行事進行、副主任保育士、主任補佐、乳児環境整備に関する事項、業務負担軽減（ICT）に関する事項 保育補助
0歳児担当 保育士	相馬志保子 田中真菜美	乳児用品・備品管理に関する事項、乳児環境整備に関する事項 保育補助
看護師	森裕美	保健・衛生安全管理リーダー、検便に関する事項、看護日誌、与薬依頼書に関する事項
調理師	須藤理美子	離乳食献立作成、アレルギーに関する事項、離乳食・アレルギー対応リーダー、カウプ指数に関する事項
栄養士	秋村加奈	献立作成、食材発注に関する事項、給食書類に関する事項、栄養管理に関する事項
給食補助	櫻井美幸	給食補助
事務	村上峰子	事務リーダー、会計、法人・保育・経理事務、措置費・給食費に関する事項、残業・勤務記録管理に関する事項、その他
嘱託医	嶋中義人 秋谷久美子	園児の内科健康診断・保健助言指導 園児の歯科健康診断・保健助言指導

②大野児童クラブ

学童支援員	間 山 百 合 子	学童リーダー
	間 山 公 一	学童保育
	種 市 は る な	学童保育
	工 藤 典 子	学童保育
	工 藤 武 彦	学童保育

(2) 健康管理

健康診断 年1回実施（指定健康診断医療機関：川口内科）

※40歳以上付加項目検査あり

(3) 各種会議等

職員会議	月1回実施	法人職員全体研修会	年2回実施
給食会議	月1回実施	理事長個人面談	年1回実施

※ケース会議等は適宜実施

(4) 研修計画

《職員研修方針》

児童福祉施設として社会的な役割を担う公共性の高い保育園に携わる職員としての自覚と未来を担う子どもを育て、保護者を支援していく高い専門性の知識や経験を高めていく。そのための研修ニーズを把握した職員全体研修と個別研修計画シートの評価指導を充実させ一人ひとりの資質向上と研修成果の還元を日常業務(保育サービス)等に活用していく。

①職場内研修（OJT）の推進・充実

職員会議・打合わせ、伝達講習等の充実を図り、園・各クラスの課題提起と解決を職員全体で認識していく。

②法人全体の内部研修や外部研修計画に沿った職員の派遣、また各職員の個人研修計画・評価シートの記入と自己評価を継続し、日々の保育実践や業務を真摯に振り返り、評価や改善向上のための行動指針としていく。

(5) 福利厚生等

令和5年度も、職員福利厚生の更なる充実を図る為に、社会福祉法でも規定されている福利厚生センターソウエルクラブへ加入する。また、職員健康診断の付加項目(胃がん検査)やインフルエンザ予防接種の費用を負担し、職員の健康維持と働きがいのある職場作りの体制を維持する。

4 施設事業管理

(1) 園舎等の整備(改修)、備品購入計画

- ・大野保育園の園庭整備

(2) 災害対策

業者(青森消防設備)による火災報知機等の保守点検(年2回)と有事(自然災害等)の備蓄用品(発電機、電灯電池、飲料水、食品、ストーブ等)の点検整備を行う。

避難訓練年間計画

月	想定	内 容	月	想定	備 考
4	地震	地震発生による避難	10	地震による火災	学童室から火災発生による屋外避難
5	地震による火災	地震から火災発生による屋外避難	11	火 災	調理室からの火災発生による避難
6	地震	地震発生による屋外避難	12	地震(不審者)	地震発生による避難
7	火 災	調乳室からの火災発生による屋外避難	1	火災(Jアラート)	調理室から火災発生による避難
8	地震	地震発生による屋外避難	2	地震(水害)	地震発生による避難(水害2階)
9	火災(防災)	近隣建物火災による屋外避難	3	火 災	調乳室から火災発生による避難

5 地域社会との連携推進

- (1) 地域社会へ保育園(社会資源)としての機能を開放・還元する。
- (2) 地域敬老会、老人福祉施設等の訪問交流の実施。
- (3) 中高生の職場体験活動及び保育実習生の積極的な受入。
- (4) 地域の子育て支援の為の育児・子育て講座、育児相談等への対応。

社会福祉法人 桜川会

□ 大野保育園 〒030-0852 青森市大野前田 74-1
TEL 017-739-7871 FAX 017-718-7081
E-Mail ohno5641@actv.ne.jp

HP [社会福祉法人桜川会](#) → [検索](#)

□ 大野児童クラブ 〒030-0852 青森市大野前田 74-1
TEL・FAX 017-739-3998

HP [社会福祉法人桜川会](#) → [検索](#)